

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DA3051E

ダイアボンドDA3051Eは、ゴム弾性を有し、ホットタックの長い、エラストマー系のホットメルト形接着剤です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. ホットタックが長いため、オープンタイムを長く取れ、作業性に優れます。
3. エラストマー系のため、ゴム弾性を有し、広い温度範囲において物性が安定しています。
4. 広範な材料に対し、密着性が優れます。
5. 粘着性が強く、低温特性に優れています。

§ 用途

1. 自動車内装材用：カーペット、フェルト、ウレタンフォームなど断熱材の接着
2. ゴムシートや各種プラスチックの接着
3. その他 繊維、紙、木材、皮革、金属の接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	変性スチレンブタジエンゴム
外 観	黄褐色粘稠ブロック
溶 融 粘 度 (mPa·s) at180℃	4,000 ~ 8,000
軟 化 点 (℃) R&B 法	115 ± 7
低温可とう性 (℃)	-30
最適使用温度 (℃)	170 ~ 190
*軟化温度 (℃)	80
保 証 期 間 (月) at25℃	12

*せん断形 アルミニウム/アルミニウム 500g/25×25mm²

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 最適使用温度 溶解温度は接着剤の最適使用温度範囲内で使用して下さい。
温度の高過ぎや長時間加熱の繰返しにより熱分解し、粘度変化，変色，ゲル化や異臭を放つようになります。
低すぎると、糸をひいたり、被着材に対するぬれが悪くなり、接着不良をおこす原因になります。
3. 塗 布 方 法 加熱溶解させて接着することが必要ですので、作業に適したアプリーターを使用して下さい。
ホットメルト形接着剤は、季節（温度）により影響を受けやすいので、それに
応じたグレードの接着剤を選定するか、室温の変化を少なくして下さい。また
被着材の温度管理（プレヒートなど）に注意して下さい。
4. 圧 着 ・ 養 生 接着剤塗布後、すぐにはり合せ、加圧して下さい。接着後十分に冷却するま
では、大きな力を加えないようにして下さい。

§ 接着性能

はく離接着強さ

-30 °C	20 °C	60 °C
140	61	9

被着材 アルミニウム (300 μ) 対アルミニウム (100 μ)

試験方法：JIS K 6854 に準ずる

§ 注意事項

《取扱注意事項》

- ・ 接着用以外には使用しないで下さい。
- ・ 蒸気を発散する場所には、局所排気装置を設置することが望ましいです。
- ・ 溶解機器および塗布機器を扱う場合は、手袋，長袖作業衣，保護メガネなどの火傷防止の措置をとって下さい。
- ・ 保管に当たっては、直射日光を避け、なるべく低温で保管して下さい。

《加熱溶解状態での注意事項》

- ・ 目に入った場合は、直ちに水で冷やし、医師の手当を受けて下さい。眼をこすったり、無理に開けたりしないで下さい。
- ・ 皮膚が接触すると火傷することがありますので、その場合は直ちに水で冷やし、火傷に対する医療処置を行って下さい。
- ・ 加熱溶解時に出る蒸気は、目，鼻，のどを刺激することがありますので、異常を感じた場合は直ちに新鮮な空気の場所に移動して下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。